

2017年度 生徒募集のご案内

「バンビーノの森」は、ひとつの私立幼稚園が閉園することをきっかけに、理想の子育てと幼児教育の場を追求し始めた父母たちにより、2007年4月に始まった認可外保育施設です。10年目にあたる2016年8月に“保育機能施設型認定こども園”として認定されました。

“森のようちえん”と“モンテッソーリ教育”を主体に、自然と育む「智」「徳」「身」を建学の精神として活動しています。

ひとりひとりを大切に、子どもたちが本来持っている力を最大限引き出すよう、保育者と家族が連携し「子どもたち」を支援して行きます。

どうぞ、一緒に！

2017年度募集園児数 3歳児 12名（1号認定9名・2号認定3名）
 5歳児 若干名（1号認定・2号認定）

園児募集説明会 8月28日（日） ・ 9月1日（木） 10：00～11：30

申し込み 入園申込書を記入の上、入園申込金を添えて持参してください
 9月1日10時より 受付開始 *1次締切 9月30日

入園決定 簡単な面接 および 居住市町村での教育・保育認定により決定

入園の案内 入園準備説明会（2月上旬頃）

見学週間 9月26日（月）～30日（金）9：00～15：00
 子どもたちの普段の様子をぜひご覧ください。（予約制）

ご不明な点やご心配なことがございましたら、お気軽にお問合せください。

☆ ホームページ・ブログ随時更新中 ☆

ブログ“森のごきげん”で毎日の様子が分かります。 <http://www.bambino-mori.co.jp>

お問合せ・お申込み

保育機能施設型認定こども園 Fuji こどもの家バンビーノの森

山梨県南都留郡富士河口湖町勝山3407-1

TEL 0555-72-9995 FAX 0555-72-9996

E-mail info@bambino-mori.co.jp

Fuji こどもの家

バンビーノの森

入園のご案内

名称	保育機能施設型認定こども園 Fuji こどもの家バンビーノの森
運営主体	株式会社バンビーノの森 代表：朝比奈茂
場所	山梨県南都留郡富士河口湖町勝山3407-1 及び 周辺の山林
開園日時	月～金曜日 8時～17時
休園日	1号認定 土日祝祭日、春・夏約1週間、冬約2週間、湖上祭、職員研修 2号認定 土日祝祭日、お盆3日、年末年始(12/29-1/3)、年度末(3/31 又は 4/1)
保育時間	1号認定 9時～15時(15時30分から延長保育)・時間外保育あり 2号認定 8時30分～16時30分(保育短時間認定)・時間外保育あり
クラス	満3歳～6歳 異年齢混合クラス
保育内容	AM 森を中心とした野外活動(原則として雨でも) PM 室内活動(モンテッソーリ教育)
入園申込金	10,000円 (検定料・慣らし保育2回・事務手数料等)
保育料	居住する市町村の定める金額(0～28,500円位)
昼食	主食持参 *料理の日・おむすびの日・お弁当の日あり 1号認定 手作り給食 1食360円 又は お弁当 2号認定 給食代が保育料に含まれます。お弁当希望の方はお申し出ください。
その他費用	施設整備費(入園金相当)1,500円/月、教育充実費(教材費含)3,000円/月、 暖房協力費(10月～3月)500円程度(月)、行事費など
体験入園	楽しく通園できるように、入園前に慣らし保育が受けられます。
服装等	制服はありませんが、野外活動の為に上下別のカッパ・リュック等と、年長時に 地下足袋が必要となります。
アフター スクール	ご希望により週2回ネイティブスピーカーの講師による、英会話のレッスンが 受講できます。

森づくり隊(保護者任意参加) 随時開催

園舎や活動場所の整備、森のブランコ・倒木のシーソー・小枝の基地作り、
お父さんたちが子どもの頃になえられなかった夢を実現させたり、地域の森林
環境を考えたり、パパ達が子育て談議を楽しむ、森作りを一緒にしませんか

バンビーノの森

～建学の精神～

自然と育む 「智」 「徳」 「身」

～教育目標～ バンビーノの森がめざす子ども像

- ◎自分で考え 自分で行動できる子ども
- ◎自分も 人も 地球も 慈しむ子ども
- ◎心も 身体も しなやかに 健康で たくましい子ども

～教育内容～

森のようちえん

1950年代半ば頃、最も多感な幼児期に、子どもを自然環境の中で育てたいというデンマークのひとりの母親の思いから「森のようちえん」は始まったものだと言われています。園舎がなく備え付けの遊具もない、「森」そのものが、遊び場であり、学び場であり、成長の場です。こうした考えや行動がデンマークからドイツ、スウェーデンなどへ広がりました。そして日本においても、子どもたちの体験不足や体力低下が叫ばれるなか、幼児期の自然体験活動が心身の発達にもたらす効果が注目され、「森のようちえん」の活動が広がってきています。1年を通じ自然の変化を感じながら、遊びを見つけ、創り出す、そこでは人間同士だけでなく、人と自然も協調し思いやる心が育まれます。

幼児期に自然の中でたっぷり活動をした子どもたちは心も身体も健康で、創造性・コミュニケーション力豊かに成長し、自信と責任を持って行動できると信じています。

また、今の子どもたちが大人になるころ、自然環境への配慮は今以上に必要になってくると思われます。ここで幼児期を過ごした子どもたちは、将来にわたり自然への配慮を無理なく、当たり前のこととして行動できることでしょう。

モンテッソーリ教育

モンテッソーリ教育とはイタリアで女性初の医学博士となったマリア・モンテッソーリ(1870～1952)が始めた、教育界に最も大きな影響を与えた教育方法の一つです。

子どもは自らをより良く発達させようとする力を持っていて、発達段階で手を使いたい、言語を知りたいなど、ある特定の事柄に特別な感受性を発揮する時期があります。これを「敏感期」といい、この時期に本当にやりたいことに出会ったとき、子どもはその作業を繰り返し、集中します。作業の過程で得た集中力と達成感、満足感が子どもの人格形成にとっても良い影響を与えます。モンテッソーリ教育の内容は日常生活の練習、言語教育、数教育、感覚教育、文化教育など様々ですが、それぞれを教えるのではなく敏感期を見逃さずに支援してゆく活動です。

芸術活動

「バンビーノの森」では“絵画造形活動”と“身体表現活動”“陶芸”の専門の先生を年数回お招きし、日常の芸術活動のアドバイスを頂きながら子どもの心と感性を育てています。

Fuji こどもの家 バンビーノの森 保護者のこえ

年少男児 母

子どもの個性を大切にしたいと思い、バンビーノの入園を決めました。入園当初は体力的に厳しかったのか家に帰るとすぐに寝てしまう様子も見られましたが、今はお休みの日も1日中外で自分で遊びを見つけて楽しんでいます。「お友達と一緒に遊ぼう」と言えないと泣いて帰ることもありましたが、今はお迎えに行くのが嫌がられるほどです。「バンビーノ大好き」そう言って毎晩眠りにつく子どもを見ていると親としてとてもうれしいです。心配になる事もありますが、先生方にその都度相談をさせてもらい、安心して過ごすことができます。これからの成長もとても楽しみです。

年少女児 母

バンビーノの魅力は色々ありますが、何と言っても森の活動とモンテッソーリだと思います。娘も4月から1学期間で体力がつき、友達との関わりの中で言葉も増えてきました。家でもいろいろな色のビーズをいつの間にか色分けしていたり、自然とモンテッソーリのお仕事が身についているのだと感じる場面が色々あります。親子で森と一緒に遊びおにぎりを食べた時に、子ども達が自分でしたい遊びを見つけ、イキイキと遊ぶ姿に、やっぱりバンビーノに行かせてよかったなと思いました。これからはバンビーノでの娘の成長を楽しみにしています。

年少男児 母

バンビーノに通い始めてから、息子が今まで興味を示さなかった物や事などに、積極的に行動するようになりました。例えば、虫などは触ることもできなかったのに、今ではいろいろな虫・生き物に興味があり、自宅で飼育しているくらいです。長男も次男共にバンビーノに通い始めてから、すごく成長を感じることができています。

年少女児 母

入園し始めの頃は毎日「行きたくない」と言っていた娘もようやく園での生活に慣れ「行きたくない」と言わなくなりました。「今日は〇〇君が～した」「〇〇ちゃんと遊ぶ！」等、園での様子、友達との関わりも話してくれるようになり、楽しく落ち着いた気持ちで通っている様子が見てわかるようになり嬉しく思います。生活面はまだまだ手助けが必要な部分もありますが自分でやろう！という意識が出てきたようです。折り紙、お絵描き、料理等、手先を使うことが好きなようで今までに見られなかった行動を見る事も嬉しいです。色々な年齢の子と関わる事が出来、娘の成長も一気にスピードアップしたように思います。

年少女児 母

人見知りが激しく、祖父母でさえ1週間会わないと恥ずかしいといっって近づかない子でしたが、今は近所の方や初めて会った方にも挨拶ができるようになりました。最初は「行きたくない」と泣いてばかりでしたが、今は「バンビが大好きだから行く！」と毎日とても楽しそうです。先生方がとても1人1人の子を見てくださっているのがわかり、毎日安心して預けることができます。

年少男児 母

「僕、やらない。」怖がりでも何事に対しても慎重な息子が、入園前よく口にしていた言葉です。少しでも不安なことがあると挑戦せず、それから逃げているような子どもでした。しかし、入園して数か月、そんな息子に少しずつ変化を感じるようになりました。最近よく口にしている言葉は「見てて！僕、こんなことできるんだよ!!」です。高い所からジャンプしたり、坂道を走って下ったり、木登りをしたり。入園前には全て避けていた行動を今では自信を持って取り組んでいます。難しい事柄に対しても、逃げ出さず挑戦してみようという意欲も感じられるようになりました。自宅での遊び方も創造力豊かになりました。入園前は働く車のオモチャさえあれば満足といった感じでしたが、今では自然の中にある木の枝や石、セミの抜け殻等を使い、創造力豊かに遊んでいると感じます。遊びの幅が広がりました。自立という面ではまだまだですが、プラスの方向に変化しているので、嬉しく思います。それもこれもバンビーノのおかげ。先生方やお友達、森へ感謝します。

年少女児 母

年長に兄がいて、今年妹も入園させて頂きました。たて割り教育のため、園でも兄妹がかかわって毎日過ごしていることをとても嬉しく思います。二人で同じ歌をうたったり、共通の話ができるのを見ていてほほえましいです。上の子を見て下の子は育ち、上の子は下の子に目をかける、そんなことが自然にでき備わっていくのがバンビーノの大きな特徴とと思いました。お家とは違う兄妹の関わりと互いの成長を日々感じています。